

一五%の犠牲的分擔額は農民に過重の負擔

注目される珈琲問題

「リオ廿日」本日の下院は百七名で開會當初の代表者を以て開會したが最初演説を爲したのがリオ出身反對黨代議士サンディアゴ・アン・モアはあつたが氏は珈琲問題に對し大要の如く述べた。

最初聖州新聞により報ぜられた一九三六年三七七年收穫物對する二五%の犠牲的分擔額は

珈琲市場へ大なる恐慌を齎してゐるといふと述べ更にミナス・リオ農業の全滅となるであらう

と云ひ次いで良質珈琲生産宣傳問題に對する解説を有ひ更に聯邦珈琲と聖州珈琲局の件はる可から

へ今度の犠牲的分擔額はミナス・リオ農業の全滅となるであらう

世界産金額
ユニオン・ヨーボレーシヨン發表
の年報による一九三五年度の世界產金高は三千一百萬ボンドに増加してゐる
南阿に於ける金額は日下進行の發掘工程の指揮な
行はれてゐるので一九三七年
年高は一千五百萬ボンド
万オナスに増加し、そのうち各國
中央銀行より國庫保有金は六億
万オナスから七億三千四百三十
スケナムを現するいはれ
一方サボの產金高は一九三六年未
期に於ける解説を有ひ更に聯邦珈琲と聖州珈琲局の件はる可から

へ今度の犠牲的分擔額はミナス・リオ農業の全滅となるであらう

と云ひ次いで良質珈琲生産宣傳問題に對する解説を有ひ更に聯邦珈琲と聖州珈琲局の件はる可から

へ今度の犠牲的分擔額はミナス・リオ農業の全滅となるであらう

頗る好成績を示す

黒字の首位は聖州

昨年度伯國各州の輸出入バランス

聖市主要農作物相場表		
	五月	中央市
品名	20日	21日
咖啡	16.500	16.500
米	59.500	59.500
小麦	33.000	33.000
玉米	61.000	61.000
大豆	48.000	53.000
豆粕	21.000	21.000
花生	44.000	44.000
豆油	8.000	8.000
豆粕	20.300	22.200
豆油	19.800	19.700
豆粕	3.500	3.500
豆油	58.500	58.200
豆粕	232.000	232.000
豆油	91.000	91.000
豆粕	39.000	39.000
豆油	25.000	25.000



そんぞく時雨 (82)

一龍齋貞喬演
北富三郎書

石松はひよろ松から残らず話な
聞いて大そう怒り乾分の中の腰の
立つ者な五六人併れて、その夜の
五ッ頭兒玉村を出で、熊谷を指し
て行く。此の石松と云ふ者は川越
の代官八田五左エ門と云ふ者の次
男ばう持て生れた勝負好きの根
性で、十二三の時から博奕場に足
を入る、親の強意見も肯入れず、
それが却つて富人の不爲となり、
男文が延びるに従つて道樂は暮る
に非理、非道があつても、まあ役人
の供だからと我慢してしまふ。
或る時は大人と喧嘩などして来る
と云ふ極道風、然し近村では代
官の侍たといふので少々位は石松
に非理、非道があつても、まあ役人
の供だからと我慢してしまふ。
それが却つて富人の不爲となり、
男文が延びるに従つて道樂は暮る
に非理、非道があつても、まあ役人
の供だからと我慢してしまふ。
それが却つて富人の不爲となり、
男文が延びるに従つて道樂は暮る
に非理、非道があつても、まあ役人
の供だからと我慢してしまふ。
それが却つて富人の不爲となり、
男文が延びるに従つて道樂は暮る
に非理、非道があつても、まあ役人
の供だからと我慢してしまふ。

いぢらう

嘉「さうでござんす、小畠の思
ふには、征尾は町家の事、乗込ん
で行けば驚いて、泥棒が押込んで
来た、役人を呼んで来いと騒ぎ立
ててございませう、誰がねちや
だらう」

嘉「それが宜うござんさう」

石「なる程、それも一理あるな、
だらう市兵衛の所へ押しかける

博奕が出来るるを聞いて、これへ出
かけた。所がその時どうした成り

大宮の萬三郎と云ふ遊び人の所に
博奕が出来るるを聞いて、これへ出
かけた。所がその時どうした成り

いぢらう

嘉「さうでござんす、小畠の思
ふには、征尾は町家の事、乗込ん
で行けば驚いて、泥棒が押込んで
来た、役人を呼んで来いと騒ぎ立
ててございませう、誰がねちや
だらう」

嘉「それが宜うござんさう」

石「なる程、それも一理あるな、
だらう市兵衛の所へ押しかける

博奕が出来るるを聞いて、これへ出
かけた。所がその時どうした成り

いぢらう

嘉「それが宜うござんさう」